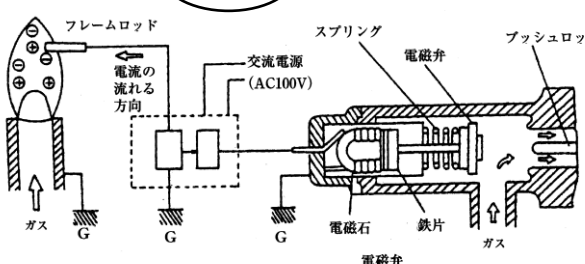
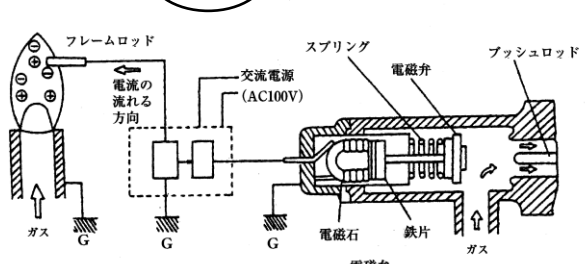


# 第二種販売講習テキスト 第 3 次改訂版 8 刷

## 【正誤表】

次のように誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。訂正箇所は、(b) フレームロッド式の説明文の最後に余分な文字 (点火プラグ) が誤って印刷されてしまいました。訂正のうえ、ご使用ください。

頁	正	誤
146 頁	<p><b>(b) フレームロッド式</b></p> <p>フレームロッド式は炎の導電性と、炎の整流性を利用して、パイロット炎の検知を行う方式である。パイロットバーナの炎の中に電極を挿入し、電極に交流電圧をかけると炎の中のイオンの働きにより炎の中を電流が流れる。このとき二つの電極の面積比を大きくすると、電流が面積の小さな電極から面積の大きな電極へ向かって流れる現象 (整流) が現れる。</p> <p>一般には、パイロットバーナのボディをアース極とし、炎に細い棒状の電極 (ロッド) を接触させて、フレームロッド電極を構成している。</p> <p>フレームロッドで発生した整流信号をフレームガードアンプに送り、この信号を大きな力に増幅して電磁弁を作動させ、ガス通路を開く。</p>  <p>図VI.11 フレームロッド式立消え安全装置の原理の例</p>	<p><b>(b) フレームロッド式</b></p> <p>フレームロッド式は炎の導電性と、炎の整流性を利用して、パイロット炎の検知を行う方式である。パイロットバーナの炎の中に電極を挿入し、電極に交流電圧をかけると炎の中のイオンの働きにより炎の中を電流が流れる。このとき二つの電極の面積比を大きくすると、電流が面積の小さな電極から面積の大きな電極へ向かって流れる現象 (整流) が現れる。</p> <p>一般には、パイロットバーナのボディをアース極とし、炎に細い棒状の電極 (ロッド) を接触させて、フレームロッド電極を構成している。</p> <p>フレームロッドで発生した整流信号をフレームガードアンプに送り、この信号を大きな力に増幅して電磁弁を作動させ、ガス通路を開く。</p>  <p>図VI.11 フレームロッド式立消え安全装置の原理の例</p>

※楕円で囲った部分が訂正箇所になります。